

第 2 次浜松市環境基本計画における進捗状況について

環境部環境政策課



1 趣旨


本市は、令和 2 年 4 月に策定した第 2 次浜松市環境基本計画（改定版）に掲げる 5 つの基本方針に基づき各施策に取り組んでいます。

計画では基本方針ごとに市の環境指標を設定し、目標数値の達成状況や施策の実施状況により、計画の進捗状況を把握しています。

この度、令和 2 年度の進捗状況を取りまとめたので報告します。

2 概要

現状としては、全 5 項目の数値目標のうち、3 項目が達成率 80%以上で目標の達成に向けて順調に推移しています。（: 達成率 100%以上、: 達成率 80%以上）

2 項目が達成率 80%未満となっており、目標の達成に向けてより一層の推進を図っていきます。（: 達成率 80%未満）

※達成率＝令和 2 年度実績値／令和 2 年度目標値（基本方針 2 は、一般廃棄物排出量の削減量を基に算出）

(1) 環境指標の達成状況

| 環境基準・指標 | 2013 (H25) 実績値 | 2020 (R2) | | | | 2024 (R6) 目標値 |
|--|---|--|---|----------------------|---|---|
| | | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 達成状況 | |
| 【基本方針1】 健康で安全な生活環境を保全する都市 | | | | | | |
| 佐鳴湖のCOD* ¹ (化学的酸素要求量) ※5ヶ年移動平均値 | 7.6mg/L | 8mg/L以下 | 7.6mg/L | 105% |  | 8mg/L以下 |
| 【基本方針2】 資源を有効に活用する循環型都市 | | | | | | |
| 一人1日当たりの 一般廃棄物排出量* ² | 898g | 860g (37g削減) | 832g (65g削減) | 176% |  | 851g |
| 【基本方針3】 気候変動に適応しエネルギーを効率的に利用する都市 | | | | | | |
| 市域の温室効果ガス排出量の 削減目標 | 基準年排出量 修正確定値 5,724.6千t-CO ₂ (参考)環境基本計画に当初 記載した実績値 5,795千t-CO ₂ | <H30> 729.3千t-CO ₂ (12.7%削減) | <H30> 1,143.2千t-CO ₂ (20.0%削減) | 157% |  | 浜松市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)見直し(R2)後の 目標値* ³ 1,413.9千t-CO ₂ (24.7%削減) (参考)環境基本計画に当初 記載した目標値 1,130千t-CO ₂ (19%削減) |
| 【基本方針4】 多様な環境と人々のくらしが共存する都市 | | | | | | |
| 緑地保全面積* ⁴ | 1,373.62ha (参考)環境基本計画に 記載した目標値 1,374ha | 浜松市緑の基本計画 【2021-2030】 1,977.66ha<R12>* ⁵ (参考)当初想定した目標値 2,492.43ha | 1,373.68ha | 69% (R12目標 値比) |  | 浜松市緑の基本計画 【2021-2030】 1,977.66ha<R12>* ⁵ (参考)環境基本計画に当初 記載した目標値 3,931ha<R11> |
| 【基本方針5】 環境活動を実践する人が育つ都市 | | | | | | |
| 環境に配慮した行動や活動を している市民の割合* ⁶ | <H26> 55% | 62% | 36% | 58% |  | 67% |

* 1 水質の指標の一つであり、一般的に、有機物が多く水質が悪化していると数値が高くなる。

* 2 可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、集団回収等の総量

* 3 令和 3 年 4 月に「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を見直し、目標値を見直している。

* 4 主として緑地の保全を目的とした法規制・条例により担保された緑地の面積（特別緑地保全地区・市民の森など）

* 5 令和 2 年度末に「浜松市緑の基本計画」を改定し、目標値を見直している。なお、年度ごとの目標値は設定していない。

* 6 市民意識調査によるごみ減量、節電、リサイクルなど環境に配慮したくらしを実践する市民の割合

(* 3 と * 5 は年度毎の目標値を設定していないため、H25 実績値から R6 (R11) の目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値を該当年度の目標値として評価)

(2) 施策（事業）の進捗状況

| 基本方針 | 施策・事業数 | 進捗状況 | | | |
|----------------------------|--------|------|-----|----|---|
| | | 継続 | 新規 | 廃止 | |
| 1 健康で安全な生活環境を保全する都市 | 68 | 68 | 0 | 0 | |
| 2 資源を有効に活用する循環型都市 | 45 | 44 | 0 | 1 | |
| 3 気候変動に適応しエネルギーを効率的に利用する都市 | 46 | 46 | 0 | 0 | |
| 4 多様な環境と人々のくらしが共存する都市 | 48 | 48 | 0 | 0 | |
| 5 環境活動を実践する人が育つ都市 | 50 | 50 | 0 | 0 | |
| | 計 | 257 | 256 | 0 | 1 |

- ・詳細は、参考資料1「第2次浜松市環境基本計画（改定版） 施策一覧」のとおり。
- ・別紙No.105「木質ペレット製造の効率改善、継続的な需要先の確保」が廃止となった。

(3) 概況

① 健康で安全な生活環境を保全する都市

- ・大気環境については、6項目の大気汚染物質の常時監視を実施し、光化学オキシダントを除く大気汚染物質は、全ての地点において環境基準を達成しています。水質については、15の測定地点のうち環境基準未達成地点が1地点（佐鳴湖）あります。令和2年度の佐鳴湖のCODは5ヶ年移動平均値で7.6mg/L、年平均で6.4mg/Lと佐鳴湖地域協議会で定めている目標を達成しています。
- ・排出抑制については、工場・事業場への排出規制遵守の指導や排出基準が適用されない工場・事業場へ良質燃料の使用などの環境配慮の依頼を行うほか、市民を対象に出前講座による環境配慮の啓発に取り組むなど、工場・事業場や家庭における汚濁物質の排出抑制を進めていきます。今後も監視活動を続け、健全で快適な生活環境を保全するため各種施策の推進を図ります。

② 資源を有効に活用する循環型都市

- ・「浜松市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、一般廃棄物の適正な処理やごみ減量、リサイクルの取組を推進しました。新型コロナウイルス感染症の影響により家庭系ごみは微増、事業系ごみは著しく減少しました。その結果、目標値を達成することが出来ましたが、今後の新型コロナウイルス感染症の収束次第で事業系ごみが増加することも考えられます。今後も「生ごみ」と「紙類」に重点を置き、生ごみの減量や雑がみ回収の促進、SNSを活用したごみ減量に関する啓発等を実施し、更なるごみの削減を目指します。
- ・バイオマスエネルギーの活用について、木質ペレットの製造については、龍山森林組合との協定期間が終了したため、平成31年3月末で製造中止し、ペレット製造施設も令和元年度に事業実施希望者の募集を行いました。希望者は現れなかったため、廃止令和2年度に解体・撤去しました。一方で、地元NPOを中心として、森林組合・JA・民間企業・市からなる協議会にて、木質バイオマス資源利活用による地域活性化推進事業（夢プロジェクトさくま）の実現に向けた検討を行っています。また、「浜松市バイオマス産業都市構想」に位置付けていた「下水汚泥発電プロジェクト」については、事業採算性がないと判断したため、廃止する方向で国にバイオマス産業都市構想の変更を申請しています。事業の採算性が大きな課題となっています。

③ 気候変動に適応しエネルギーを効率的に利用する都市

- ・温室効果ガスの排出の抑制を行う施策等を推進した結果、指標である市域の温室効果ガス排出量は、削減目標を達成しています。引き続き、太陽光や風力など地域資源を活用した多様な再生可能エネルギーの適正な導入を推進するとともに、令和3年4月に策定した「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）[2021]」の目標達成のための取組として、COOL CHOICEの普及啓発をはじめ、省エネ機器、省エネ住宅、次世代自動車等の普及に係る各種施策を展開し、市域における温室効果ガス排出量の削減を目指します。

④ 多様な環境と人々の暮らしが共存する都市

- ・「生物多様性はままつ戦略」に基づき、生物多様性保全と持続可能な利用に向けて取り組むとともに、森林や緑地の保全を図りました。
- ・指標である緑地保全面積については、令和2年度末に「浜松市緑の基本計画」を改定し、令和12年度末までに優先的に地域制緑地指定を目指す緑地を精査し、目標値を改めました。

⑤ 環境活動を実践する人が育つ都市

- ・学校・地域・社会など幅広い場における環境教育を推進するため、移動環境教室の開催や小学校を対象に環境劇を上演し、環境行動を実践するきっかけを創出しました。
- ・一方で環境に配慮した行動や活動をしている市民の割合は、平成28年度は増加しましたが、平成29年度からは相対的に減少している状況です。すべての環境問題について、自ら行動できるように移動環境教室などの環境学習会を通じて若い世代を啓発し、環境に配慮した行動の意識付けを図ります。

⑥ その他全体を通して

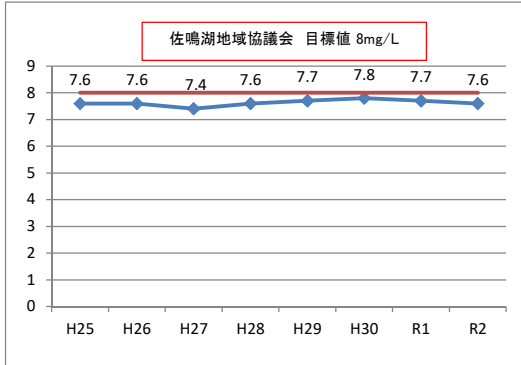
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年度はウェルカメクリーン作戦、浜名湖クリーン作戦、出前講座等のイベントの多くが中止となりましたが、今後は、感染症予防に必要な措置を講じて事業を継続していきます。

(4) 環境指標の数値の推移

①健全な生活環境が保全される都市

【指標】 佐鳴湖のCOD(化学的酸素要求量)[5ヶ年移動平均値]の達成状況

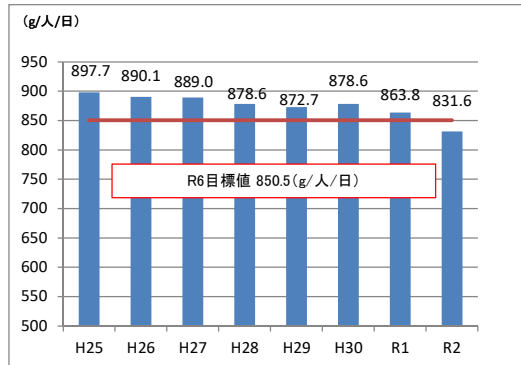
【評価】 



②資源を有効に活用する循環型都市


【指標】 1人1日当たりの一般廃棄物排出量

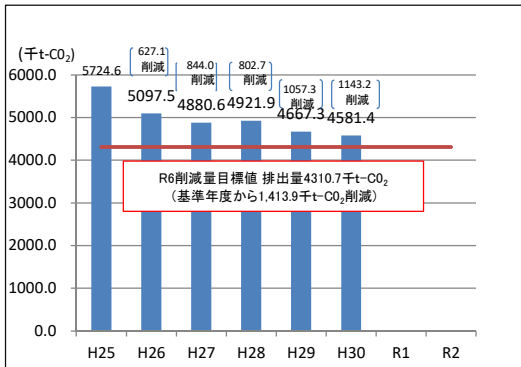
【評価】 



③エネルギーを無駄なく賢く利用する都市

【指標】 市域の温室効果ガス排出量

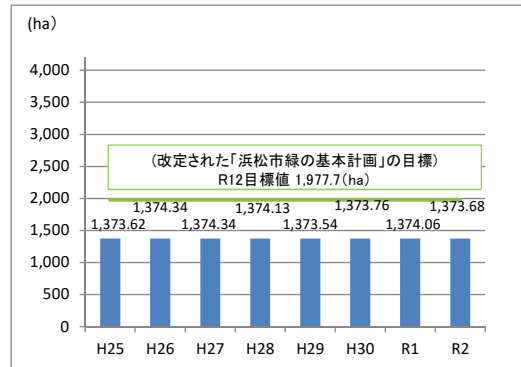
【評価】 



④多様な自然と人々の暮らしが共生する都市

【指標】 緑地保全面積

【評価】 



⑤環境活動を実践する人を育てる都市

【指標】 環境に配慮した行動や活動をしている市民の割合

【評価】 

